

事業者向け 児童発達支援自己評価表

公表日：令和3年3月1日

事業所名：リハビリ発達支援ルーム UT キッズ香芝

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			使用しない遊具等は療育室の端に片付け、同時期の療育者と事前打ち合わせをすることで療育室のスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準の職員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		事業所内の通常出入口とトイレには2～3段の階段があります。現在は保護者の方の介助にて出入りされていますが、外部からの直接療育室入室口はバリアフリー化されているため必要時にはそちらを利用することが可能です。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			PDCA研修を行っています。 職員ミーティングではPDCAサイクル法を活用し、問題解決や業務改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向を把握し改善できるところは早急に対応できるよう努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は現在実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部勉強会、外部研修への参加を積極的に行っています。
適切な支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントの時間を十分にとるように配慮し、子どもと保護者、一人一人のニーズに合わせて計画書を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを標準化して使用しています。

提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			療育検討会議を実施し、計画書担当が活動の目標を決め、その目標を職員で共有しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			療育内容が固定化しないよう療育検討会議などで話し合いをして活動プログラムを見直しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		個別療育を提供しているため平日・休日・長期休暇で分けることなく、特別支援計画書に基づき課題を設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本的には個別対応で実施していますが、子どもの状況に応じて集団療育を実施しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			全活動に対してはミーティングを行う時間を設けられていませんが、各担当が活動の留意点、計画書等を確認しています。またより良い支援を実施するために支援開始前は職員間で打ち合わせをしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			漏れが無いように気づいた点や保護者との話などを記録し、伝達がしっかりできるようにしています。また次の日の朝礼や支援前の打ち合わせを利用し、職員間で共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			療育終了後に、その日の様子を日々記録に記入しています。また、支援の検証・改善に繋がっています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に一度、保護者の方にモニタリングを行い、個別支援計画書・特別支援計画書の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者はガイドラインの総則を読み統一しています。他職員にも一読しておくよう努めています。
関係機関や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児童発達支援管理責任者で支援の統一を図っています。他職員にも一読しておくよう努めています。サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者、必要に応じて療育現場で担当している職員が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル	○			電話連絡、見学の受け入れ、保育所等訪問支援を通して学校との情報共有を行っています。

との連携関係機関や保護者との連携		ル発生時の連絡)を適切に行っているか					
	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的措置の必要な利用者の受け入れはしていません。	
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者の方からご相談された際に、児童発達支援管理責任者と作業療法士が利用機関と連携をとり情報共有をしています。	
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				○	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する利用児はまだいません。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				○	助言等は特に受けていませんが、研修には積極的に職員の参加を促しています。今年は新型コロナウイルス感染症により受講はしていません。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		今年は新型コロナウイルス感染症により交流会やイベントは実施していません。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか				○	中和圏域3市1町の自立支援協議会の全体研修等には参加させていただきましたが、継続的には行っていません。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか				○	療育中、または療育終了後に子どもの状況を共通理解しています。また、必要があるときは事業所内相談支援を実施しています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか				○	ペアレントトレーニングは実施していませんが、外部研修、書籍を読み支援の振り返り等を通して保護者にお伝えできるように努めています。
保護者へ	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				○	利用契約前に重要事項説明書・利用契約書を使い、支援内容、利用者負担等について伝えています。また、いつでも閲覧できるように提示しています。

の 説 明 責 任 等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、保護者の方からの子育て等の悩み、相談に応じています。必要時は、別に相談日を設け相談の場を提案しています。また、療育会議を開き必要な支援を職員間で検討しています。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者勉強会を計画実施し、茶話会を通して保護者同士のつながりの場を提供していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症により実施していません。
	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			ご意見をいただいた際には、内容を記録し管理者が迅速かつ適切に対応できるように努めています。また解決が難しい場合はマネージャー、所長に報告し安全管理委員会で検討後、解決しています。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に HP のブログ等で活動概要、行事のお知らせをしています。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	○			書類に関してはシュレッターにかける、鍵の付いた棚に保管するようにしています。FAX 等については名前や住所の一部を黒く塗りつぶす、データは社内のみで使用できるサーバーに保管し、個人の USB メモリなどでの読み込みをできなくする設定にするなど個人情報には十分注意しています。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもに対しては能力や特性に応じて理解しやすい意思疎通方法をとることができるように社員教育を実施しています。 保護者に対しては必要に応じて資料をお渡ししたり、内容を文章にまとめたりし情報伝達をしています。
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今年度は新型コロナウイルス感染症により地域住民を招待する企画は実施していません。
非 常 時 等 の 対 応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを使い研修を行っています。また、避難訓練実施後は報告書を作成し保護者室に掲示しています。
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災、地震、防犯訓練を行っています。実施内容を保護者室に貼り出し、訓練を通して避難経路や備品の確認、施設の改善等も行います。

④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県主催の虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を行っています。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束のルールを決定し、事業所内ミーティングで確認、保護者に説明し了解を得た上で療育を実施しています。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			日常の療育中に飲食はしていませんが、イベントで実施する際は事前に調査確認し、詳しく保護者に確認のうえ食物アレルギーのある子どもに対し十分な配慮をしています。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。